

## 宮城県循環型社会形成推進計画(第2期)(案)に対するパブリックコメントの結果について

「宮城県循環型社会形成推進計画(第2期)案」について、平成27年12月18日(金)から平成28年1月18日(月)の間、ホームページ等を通じ県民のみなさまの御意見等を募集しました。この結果、1事業者から合計1件の貴重な御意見・御提言を頂きました。

頂きました御意見等につきましては、この計画策定の参考とさせていただきます。御協力ありがとうございました。

頂きました御意見等に対する宮城県の考え方につきまして、以下のとおり回答いたします。

| 意見主体 | 御意見等  | 宮城県の考え方  |
|------|---|--|
| 事業者  | <p>既存のし尿処理は、きれいな水を使い希釈し放流し、環境に負荷をかけている。震災時には、停電や断水により復旧に時間がかかりました。</p> <p>これから新たに整備される公園や緑地等の公衆トイレには、オガクズ等を利用したバイオトイレを活用してみたいか。</p> <p>オガクズ等を利用したバイオトイレは、外につながらない事で周囲環境に負荷をかけず、水に頼らない処理により水不足問題等の解決、更に排出されるオガクズを有機肥料として環境整備等に活用する事で、し尿の再資源化をはかれ、循環型社会の構築と育成がはかれます。災害時でも(停電、断水等)の影響を受けにくく、緊急時、イベント時の為の備蓄トイレとしても期待できます。</p> | <p>御意見のとおり、御提案されているオガクズを利用したバイオトイレは、水を使用せずに、加温しながらふん尿とオガクズの攪拌で微生物分解させる周辺環境への負荷が少ない、し尿処理方法と考えます。今後の環境施策及び防災対策を検討する上で、参考とさせていただきますとともに、このような循環型社会の形成に資するような技術や設備等については、当計画の基本方針の一つである「循環型社会を支える基盤の充実」における施策の中で普及等図ってまいります。</p> |